

〔重修本草綱目啓蒙二十八化生蟲〕蚱蟬 アカゼミ。サトゼミ。中略。アキゼミ。ヒグラシ。古歌。阿州。オホ

ゼミ。江州。中略。

蚱蟬ハ形大ニシテ翅ノ色黄赤ク、スキトヲラズ、八月ニ至リ、未ノ刻以後多ク鳴ク、弘景雌蟬トスルハ非ナリ、雌蟬ハ鳴カズ、故ニ啞蟬ト云、俗名ナハゼミ、和名オシゴロウ、中略。時珍、未得秋

風則瘡不能鳴、謂之啞蟬ト云フハ非ナリ、〔蜻蛉日記下ノ中〕六月になしつ、ひんがしおもての、朝日のけいとくるしければ、みなひさしにい

でたるに、略中せみのこゑいとしげうなりにたるを、おぼつかうて、また見みをやしなはぬ翁ありけり、庭はくもて、箒をもちて、木のしたにたてるほどに、俄にいちはやうなきければ、おどろ

きて、ふりあふぎていふやう、よいぞ、といふ、なほ抄なほ解なほ環せみ。木にをるはむしたにときせちをしりたるよとひとりごつにあはせてしかくとなきみちたるに、おかしうも、あはれにもありけん、

馬蜩

〔倭名類聚抄十九〕馬蜩 爾雅注云、馬蜩、一名蝻音綿、和名無末世美、蟬中最大者也、

〔箋注倭名類聚抄八〕爾雅、蝻、馬蜩、郭注云、蜩中最大者、爲馬蜩、初學記引孫炎曰、蝻、馬蜩、蟬最大者也、此所引或是鄭樵注云、其聲響震巖谷、郝曰、今此蟬呼爲馬蜩、其形龐大而色異、鳴聲洪壯、都無

回曲好樹顛、尤喜楊柳林中、噪、本草、蚱蟬生楊柳上者、殆是此、以充无末世美、似爲允然、馬蜩以五月鳴、詳見蚱蟬條、无末世美、八月乃出、頗不同、未知果當否、說文、蚳、蚳、蟬屬、段曰、玉篇廣韻皆曰、蚳、即

蝻字、然則許之蚳、蚳、即爾雅之馬蜩也、說文別有蝻字、系淺人躡入也、〔類聚名義抄十〕蝻 ムマセミ 馬蜩 ムマセミ

〔和漢三才圖會五十三〕蚱蟬 蝻音 馬蜩 俗云無末世美略中

按和名抄、蚱蟬和名美波世美、以爲雌蟬不能鳴者、非也、此據陶氏之本草、謬然矣、蓋蚱蟬、即馬蜩也、形長大於